

平成 28 年度

事 業 報 告

平成 29 年

平成 28 年度事業報告

I. 庶務事項

1. 理事会及び評議員会の開催
2. 官公庁への届出等
3. 寄附受領
4. 設備投資等
5. 諸制度の整備・改定等

II. 主なる事業活動

[1] 五島美術館事業(公益目的事業①)

1. 展示事業
2. 調査・研究事業
3. 普及事業

[2] 大東急記念文庫事業(公益目的事業②)

I. 庶務事項

1. 理事会及び評議員会の開催

・第 91 回評議員会

平成 27 年度決算等に係る定時評議員会において、任期満了による役員等の選出に際し、評議員会による推薦候補者(理事候補者、監事候補者、評議員候補者)の選定及びその承認の審議事項について、評議員全員の同意を得たので、平成 28 年 5 月 21 日付にて、第 91 回評議員会として同案を可決した。

・第 95 回理事会

平成 28 年 6 月 9 日(木)午前 11 時より第 95 回理事会を東京急行電鉄株式会社役員会議室において開催、下記の議案を審議、可決した。

第 1 号議案 平成 27 年度事業報告並びに収支決算等について

第 2 号議案 定時評議員会の招集について

第 3 号議案 理事候補者の理事会推薦者名の承認について

第 4 号議案 監事候補者の理事会推薦者名の承認について

第 5 号議案 評議員候補者の理事会推薦者名の承認について

第 6 号議案 諮問委員の選任について

・第 92 回評議員会

平成 28 年 6 月 24 日(金)午前 11 時より第 92 回評議員会を東京急行電鉄株式会社役員会議室において開催、下記の議案を審議、可決した。

第 1 号議案 評議員会長の選出について

第 2 号議案 平成 27 年度事業報告並びに収支決算について

第 3 号議案 評議員の選任について

第 4 号議案 理事の選任について

第 5 号議案 監事の選任について

報告事項 諮問委員の改選について

・第 96 回理事会(臨時)

平成 28 年 6 月 24 日(金)正午より第 96 回理事会を東京急行電鉄株式会社役員会議室において開催、下記の議案を審議、可決した。

第 1 号議案 代表理事(理事長)の選定について

第 2 号議案 業務執行理事(常務理事)の選定について

第 3 号議案 事務局長、五島美術館館長、大東急記念文庫文庫長の任命について

・第 97 回理事会

平成 29 年 3 月 16 日(木)午前 11 時より第 97 回理事会を五島美術館本館集会室において開

催、下記の議案を審議、可決した。

第1号議案 平成29年度事業計画ならびに収支予算等について

第2号議案 役員退任慰労金制度の廃止と打ち切り支給について

第3号議案 評議員会開催及び招集について

・第93回評議員会

平成29年度事業計画ならびに収支予算案等の承認、役員退任慰労金制度の廃止と打ち切り支給の承認の審議事項について、評議員全員の同意を得たので、平成29年3月25日付にて、第93回評議員会として同案を可決した。

2. 官公庁への届出等

・平成28年6月24日 平成27年度事業報告ならびに計算書類等の提出……………内閣府

・平成29年3月25日 平成29年度事業計画書ならびに収支予算書等の提出……………内閣府

3. 寄付受領

＜寄附金＞

平成28年5月20日

・東京急行電鉄共済組合……………	165,000,000 円
	(内訳) 126,000,000 円 (一般正味財産として受入れ)
	<u>39,000,000 円 (指定正味財産として受入れ)</u>
	合計 165,000,000 円

＜美術品等受贈＞

平成28年7月1日受贈＜五島美術館＞

・渋谷玉恵氏……………「更紗手鑑」二帖、「西欧更紗手鑑」、「金華布たばこ入れ」
計3件(4点)

平成28年7月1日受贈＜五島美術館＞

・宇野公容氏……………宇野雪村筆「臨孝女曹娥碑」一巻他
前衛書道界のパイオニアとして知られる宇野雪村氏の代表的作品
計31件(33点)

平成28年10月20日受贈＜大東急記念文庫＞

・宇野公容氏……………森大狂訂『狂雲集』(徳富蘇峰献呈本、明治42年刊、民友社)1冊

4. 設備投資等

・第二講堂 耐震改修工事

<実施内容>

耐震診断	850,000 円
耐震改修工事	22,000,000 円 (耐震補強工事、電気・給排水・空調設備工事ほか)
追加工事	580,000 円 (屋根漏水補修工事、空調設備工事)
合 計	23,430,000 円 (消費税別)

<実施時期>

平成 28 年8月 1 日～10 月 31 日

・庭園内第二講堂隣接トイレ ウォシュレット取付工事

<実施内容>

ウォシュレット取付 480,000 円 (消費税別)

<実施時期>

平成 28 年7月4日

・紙折機 代替購入

<実施内容>

デュプロ社(DF-1200) 542,300 円 (消費税別)

<実施時期>

平成 28 年 12 月 16 日

・上野毛駅 副駅名追加

<実施内容>

大井町線車内放送	1,270,000 円 (9000 系車両 15 編成)
上野毛駅駅名標	378,000 円 (ホーム上 8 箇所)
合 計	1,648,000 円 (消費税別) ※宣伝広告費に計上

<実施時期>

平成 28 年 12 月9日～平成 29 年1月 12 日

5. 諸制度の整備・改定等

・管理職手当支給基準の制定(平成 28 年7月1日)

・賞与支給規程の改定(平成 28 年12月1日)

・海外旅費規程の制定(平成 29 年1月24日)

・就業規則ならびに賃金支給規程の変更(平成 29 年2月16日)※

※平成 29 年2月 14 日付にて渋谷労働基準監督署に「就業規則等変更届」を届出済み

以 上

Ⅱ. 主なる事業活動

[1] 五島美術館事業

1. 展示事業

1-1. 入館者数

*単位は人

	有料	無料	計	入園者	合計	開館日	一日平均
1 [館蔵]春の優品展—恋歌の筆のあと—〈平成28年4月2日[土]—5月8日[日]〉	7,534	646	8,180	370	8,550	32	267
2 [館蔵]近代の日本画展〈5月14日[土]—6月19日[日]〉	8,276	387	8,663	248	8,911	32	279
3 [館蔵]夏の優品展—動物襲来—〈6月25日[土]—7月31日[日]〉	3,635	553	4,188	136	4,324	32	135
4 [館蔵]秋の優品展—心の旅—〈8月27日[土]—10月16日[日]〉	6,638	506	7,144	181	7,325	44	167
5 [平安書道研究会 800 回記念特別展]平安古筆の名品—飯島春敬の観た珠玉の作品から— 〈10月22日[土]—12月4日[日]〉	13,417	3,454	16,871	781	17,652	38	465
6 [館蔵]茶道具取合せ展〈12月10日[土]—平成29年2月12日[日]〉	8,010	713	8,723	192	8,915	48	186
7 [館蔵]中国の陶芸展〈平成29年2月18日[土]—3月26日[日]〉	4,684	487	5,171	198	5,369	32	168
合計	52,194	6,746	58,940	2,106	61,046	258	237

*単位は人

1-2. 特別展

[平安書道研究会 800 回記念特別展]平安古筆の名品—飯島春敬の観た珠玉の作品から—

・期間＝平成28年10月22日[土]—12月4日[日]

・主催＝五島美術館、書芸文化院

・特別鑑賞会・レセプション＝平成28年10月21日[金]……………出席者194名

・講演会＝平成28年10月23日[日] 名児耶明(五島美術館副館長)

「飯島春敬の眼とは」……………聴講者158名

・講演会＝平成28年11月3日[木・祝] 池田和臣氏(中央大学教授)

「源氏物語と仮名」……………聴講者216名

・講演会＝平成28年11月20日[日] 名児耶明(五島美術館副館長)

「仮名の成立とその美」……………聴講者249名

2. 調査・研究事業

2-1. 調査・研究

・特別展および企画展に際して、館外所蔵作品の調査を行った。

・改修後の展示設備をはじめとする館内設備の調査とデータ蓄積を継続した。

- ・所蔵する図書を整理し、情報の入力を継続した。また宇野雪村旧蔵書籍など貴重書のメンテナンスを行った。
- ・以上の成果の一部については、最新の研究紀要にて報告した。

2-2. 美術品の保存・補修

- (1) K染織修復研究所に依頼し、作品に付属する貴重な更紗や真田紐など計 4 件を修復した。
なお「高野切古今和歌集(第二種)」の修理は、次年度に繰り越した。
- (2) 収蔵庫の棚扉について、作品収納の便宜のため一部を改修した。

2-3. 出版物

- (1) 『平安古筆の名品—飯島春敬の観た珠玉の作品から—』
・判型＝A4 判 ・発行日＝平成 28 年 10 月 21 日 ・編集＝五島美術館・大東急記念文庫学芸部
・発行＝公益財団法人五島美術館 ・頁数＝192 頁(カラー136 頁、図版 128 点所収)
- (2) 『五島美術館研究紀要』第 5 号
・判型＝A4 判 ・発行日＝平成 29 年 3 月 31 日 ・編集＝五島美術館・大東急記念文庫学芸部
・発行＝公益財団法人五島美術館

2-4. 美術品の他所への出品

- 東京国立近代美術館 朝日新聞社ほか……………「菊慈童 安田靱彦筆」
「安田靱彦展」(期間＝平成 28 年 3 月 23 日～5 月 15 日)
- 大阪市立美術館 読売新聞ほか……………重要文化財「蓬萊切 伝 藤原行成筆」／他計 9 件
「王羲之から空海へ 一日中の名筆 漢字とかなの競演」
(期間＝平成 28 年 4 月 12 日～5 月 22 日)
- MIHO MUSEUM……………「芦屋獅子牡丹紋釜」／他計 3 件
「極 大茶の湯釜展 茶席の主」(期間＝平成 28 年 6 月 4 日～7 月 31 日)
- Bunkamura ザ・ミュージアム……………
「山鵲手更紗 唐物文琳茶入 銘吹上 附属 仕覆箱包み裂」／他計 2 件
「西洋更紗 トワルド・ジュイ展」(期間＝平成 28 年 6 月 14 日～7 月 31 日)
- 江戸東京博物館 読売新聞社……………
重要文化財「沙門地獄草紙断簡(益田家本甲巻) 火象地獄図」
「大妖怪展 土偶から妖怪ウォッチまで」(期間＝平成 28 年 7 月 5 日～8 月 28 日)
- 毎日新聞社 一般財団法人毎日書道会……………「孝女曹娥碑」卷子
「第68回毎日書道展 企画展示 今こそ 臨書 —今日の毎日展を築いた先人の書—」
(期間＝平成 28 年 7 月 6 日～7 月 31 日)
- 彦根城博物館……………「唐物文琳茶入 銘 吹上」
「開館 30 周年 記念特別展 コレクター大名 井伊直亮 —知られざる大コレクションの全貌—」
(期間＝平成 28 年 10 月 28 日～11 月 27 日)

九州国立博物館……………「光琳蒔絵佐野渡図硯箱」
「きらめきで飾る 一螺鈿の美をあつめて」(期間＝平成 28 年 11 月 15 日～12 月 23 日)
大和文華館……………重要美術品「尹大納言絵巻断簡」／他計 3 件
「特別展 白描の美 一図像・歌仙・物語」(期間＝平成 29 年 1 月 6 日～2 月 19 日)

計 9ヶ所 22 件

2-5. 美術品の写真掲載・利用

美術の教育普及の観点から、各種の美術図書やビデオ・テレビ番組などに、その内容に検討を加えた上で、当館所蔵の美術品の撮影および写真掲載使用を許可した(平成 28 年度は 164 件のべ 234 点)。

3. 普及事業

3-1. 普及事業

(1) ギャラリートーク(展示解説)―入館者を対象にして実施

・[館蔵]春の優品展―恋歌の筆のあと―

「恋歌の筆跡」平成 28 年 4 月 7 日、4 月 21 日(別館講堂)……………参加者計 51 名

「『古今和歌集』と仮名」平成 28 年 4 月 14 日(別館講堂)……………73 名

「源氏物語絵巻について」平成 28 年 4 月 30 日、5 月 3 日、5 月 6 日(別館講堂)…計 561 名

・[館蔵]近代の日本画展

「近代日本画の世界」平成 28 年 5 月 19 日、6 月 16 日(別館講堂)……………計 137 名

・[館蔵]夏の優品展―動物襲来―

「ヒトのまなざし、サルの子」平成 28 年 7 月 2 日(別館講堂)……………29 名

「赤本の動物」平成 28 年 7 月 6 日(別館講堂)……………27 名

「やきものの動物表現」平成 28 年 7 月 14 日(別館講堂)……………59 名

「猫だけがいない」平成 28 年 7 月 27 日(別館講堂)……………47 名

・[館蔵]秋の優品展―心の旅―

「禅僧の別れの詩」平成 28 年 9 月 8 日(本館集会室)、9 月 29 日(別館講堂)……………計 53 名

「日本の陶芸―楽焼を中心に」平成 28 年 9 月 22 日(本館集会室)……………42 名

「江戸時代のガイドブック」平成 28 年 10 月 5 日(別館講堂)……………35 名

「紫式部日記絵巻について」平成 28 年 10 月 13 日、10 月 16 日(別館講堂)……………計 332 名

・[平安書道研究会 800 回記念特別展]平安古筆の名品―飯島春敬の観た珠玉の作品から―

「仮名の名品の条件」平成 28 年 10 月 27 日、11 月 18 日(別館講堂)……………計 339 名

・[館蔵]茶道具取合せ展

「茶道具取合せ展について」平成 28 年 12 月 16 日、平成 29 年 1 月 20 日(別館講堂)

……………計 115 名

「茶の湯の裂」平成 28 年 12 月 21 日、平成 29 年 1 月 25 日(別館講堂)……………計 120 名

「古経楼と茶の湯」平成 29 年 1 月 13 日、2 月 3 日(別館講堂)……………計 129 名

・[館蔵]中国の陶芸展

「中国陶磁について」平成 29 年 2 月 23 日、3 月 23 日(別館講堂)……………計 140 名

計 7 回の展示で 28 回実施 [のべ] 2,289 名参加

(2) 青少年向け普及講座

①子ども美術講座—小中学生を対象にして美術や日本文化について解説および体験学習を実施

「かなで書かれた和歌」平成28年4月17日(本館集会室)……………計7名[こども1／大人6]
「王朝絵巻の世界」平成28年5月5日(本館集会室)……………計9名[こども4／大人5]
「日本画を知ろう」平成28年6月5日(本館集会室)……………計9名[こども5／大人4]
「あやしい動物めぐり」平成28年7月24日(本館集会室)……………計2名[こども1／大人1]
「お坊さんの書」平成28年9月18日(本館集会室)……………計2名[こども1／大人1]
「王朝絵巻の世界」平成28年10月10日(本館集会室)……………計10名[こども5／大人5]
「かなの誕生」平成28年11月23日(本館集会室)……………計14名[こども8／大人6]
計7回実施 [のべ] 計53名 こども25名 大人28名参加

②東京急行電鉄株式会社主催「とうきゅうキッズプログラム」

平成28年12月18日「美術館の茶室で抹茶を飲んでみよう！」(別館講堂・茶室)…参加者15名

③小学校へ出張講義

・世田谷区立船橋小学校

平成29年2月28日「日本絵画について」……………6年生約130名

④中高生向け講義

・世田谷区教育委員会主催「才能の芽」を育てる体験学習 特別講座「おもてなし—日本人の心の表現」—世田谷区立中学校生徒を対象に募集、実施

第1回 平成28年11月5日 和室を知る(世田谷区立二子玉川公園・帰真園内 旧清水邸書院)

第2回 11月19日 床の間と巻物掛物を体験する(茶室)……………中学生8名／大人7名

第3回 12月3日 茶道具を知り、経験する(茶室)……………中学生8名／大人5名

第4回 12月17日 おもてなしを体験する(茶室)……………中学生9名／大人10名

・東京学芸大附属高等学校

平成29年2月7日 「美術館学芸員について」(本館集会室)……………19名

(3) 団体見学および団体説明会

[館蔵]春の優品展—恋歌の筆のあと—……………計5団体・計162名

[館蔵]近代の日本画展……………計5団体・計163名

[館蔵]夏の優品展—動物襲来—……………計1団体・計37名

[平安書道研究会800回記念特別展]平安古筆の名品—飯島春敬の観た珠玉の作品から—

……………計2団体・計43名

[館蔵]茶道具取合せ展……………計1団体・計26名

[館蔵]中国の陶芸展……………計1団体・計26名

総計=15団体・457名

(4) ミュージアム・コンサート—入館者を対象にして実施

・クアルテット・リゾナンツァによる弦楽四重奏演奏会=平成28年6月29日[水]

1st Violin=白井篤／2nd Violin=山口裕之／Viola=小野聡／V.Cello=山内俊輔（敬称略）

プログラム：ハイドン 弦楽四重奏曲第 39 番ハ長調 Op.33-3, Hob.Ⅲ-39「鳥」

チャイコフスキー 弦楽四重奏曲第 1 番ニ長調 Op.11

ベートーヴェン 弦楽四重奏曲第 14 番嬰ハ短調 Op.131

入場料=3500 円(友の会 3000 円) 予約制…………… 参加者 205 名

・長唄演奏会一和のこころを聴く=平成 28 年 9 月 15 日[木]

三味線=杵屋五三魅、東音 村尾慎三、杵屋五助、杵屋五之吉／唄=杵屋六響、東音 半田昌恵、芳村伊四妙、芳村伊四紗栄／囃子=望月秀幸、望月左太寿郎、仙波貴之／笛=福原寛（敬称略）

プログラム：多摩川 都風流 安達ヶ原

入場料=3500 円(友の会 3000 円) 予約制…………… 参加者 138 名

(5) 茶室公開—入館者を対象にして実施

公開日=平成 28 年 5 月 26 日[木]、平成 29 年 2 月 8 日[水]

普段は公開を制限している茶室(古経楼・富士見亭)を特別公開、解説・及び呈茶を行った。

(6) 特別閲覧

・瀬戸市文化振興財団埋蔵文化財センター・犬山市文化史料館・愛知県総務部

(3 名:平成 28 年 4 月 26 日)…………… 五彩玉取獅子文鉢 計 1 件

・九州国立博物館 (1 名:平成 28 年 5 月 27 日)…………… 佐野渡蒔絵硯箱 計 1 件

・京都市立芸術大学 (2 名:平成 28 年 6 月 3 日)…………… 瀬戸瓢形茶入銘春慶瓢箪他 計 2 件

・四条畷市教育委員会 (1 名:平成 28 年 7 月 23 日)…………… 尚方作・四獣画像鏡 計 1 件

・九州国立博物館 (1 名:平成 28 年 11 月 18 日)…………… 砂張棒の先水指他 計 3 件

・吉岡明美氏他 (2 名:平成 29 年 1 月 12 日)…………… 麻布山水図他 計 8 件

・広島大学 (3 名:平成 29 年 3 月 3 日)…………… 染紙帖(東寺切) 計 1 件

・伊藤滋氏 (1 名:平成 29 年 3 月 17 日)…………… 宣和内府蔵蘭亭叙(宇野雪村コレクション)他 計 10 件

3-2. 友の会(特別会員制度)

美術教育普及のため、開館以来友の会制度を設け、今日に至っている。本年度の利用状況は次のとおり(平成 29 年 3 月 31 日現在)。

3-2-1. 美の友会(定員制度無し・入会した日より 1 年間有効)

・会員数=454 名

・年会費=4,000 円

・展覧会(特別展を含む)を何度でも鑑賞可能。

・特別展の講演会を無料で聴講可能。

・「美の友会月例美術講座」の開催(聴講無料)。

・陶芸講座の開催(年 3 回の予定)。

・展覧会や催物の案内を発送。

(1) 月例美術講座—美の友会会員を対象にして実施

美の友会会員を対象に下記の講座(各月1〜3回)を開催した。各回とも一貫したテーマに即した主題を掲げ、五島美術館の所蔵品を中心にパワーポイントを使用してわかりやすい講座を行なった。

開催回数 28回 聴講者数 計のべ1,897名

・書跡鑑賞シリーズXI「12世紀の古筆」

担当＝五島美術館学芸部 名児耶 明

第1回	平成28年	4月2日[土]	「元永本古今集」……………	聴講者100名
第2回		5月7日[土]	「東大寺切」……………	95名
第3回		6月4日[土]	「金沢本万葉集」……………	91名
第4回		7月30日[土]	「二条切・柏木切」……………	78名
第5回		9月3日[土]	「筋切・通切」……………	95名
第6回		10月1日[土]	「烏丸切」……………	91名
第7回	平成29年	1月7日[土]	「中院切」……………	76名
第8回		2月4日[土]	「松籟切」……………	86名
第9回		3月4日[土]	「大色紙」……………	84名

・工芸鑑賞シリーズI「工芸史拾い歩き—茶の湯編」

担当＝五島美術館学芸部 福島 修

第7回	平成28年	4月9日[土]	「中世人の喫茶道具」……………	聴講者68名
第8回		5月14日[土]	「侘びのかたち」……………	63名
第9回		6月11日[土]	「茶会料理と膳碗の構成」……………	60名
第10回		7月9日[土]	「名物と銘」……………	51名

・染織鑑賞シリーズXI「名物裂を楽しむ—『雅游漫録』の世界」

担当＝五島美術館学芸部 佐藤留実

第11回	平成28年	4月16日[土]	「緞子—有楽・笹蔓」……………	聴講者70名
第12回		5月21日[土]	「緞子—亡羊・道玄」……………	53名
第13回		6月18日[土]	「緞子—珠光・紹鷗」……………	69名
第14回		7月16日[土]	「問道—青木・鎌倉・望月」……………	64名
第15回		9月17日[土]	「問道—吉野・船越・日野」……………	50名
第16回		10月15日[土]	「海気・ちゃんば」……………	50名
第17回		12月17日[土]	「『雅游漫録』まとめ」……………	51名
第18回	平成29年	1月21日[土]	「『雅游漫録』に載らない名物裂」……………	46名
第19回		2月18日[土]	「名物裂の見分け方と鑑賞①」……………	56名

※ 3月25日[土]に開催予定であった「第20回 名物裂の見分け方と鑑賞②」については、担当学芸員の体調不良につき次年度へ延期した。

・陶磁鑑賞シリーズV「宋磁の魅力」

担当＝五島美術館学芸部 砂澤祐子

第1回	平成28年	9月10日[土]	「定窯」……………	聴講者70名
第2回		10月8日[土]	「磁州窯・遼の陶磁器」……………	53名

第3回	12月10日[土]	「耀州窯・鈞窯・汝窯」	58名
第4回	平成29年1月14日[土]	「越州窯・南宋官窯・龍泉窯」	53名
第5回	2月11日[土]	「景德鎮窯・南方の白磁」	61名
第6回	3月18日[土]	「建窯・吉州窯」	55名

(2) 陶芸教室—美の友会員を対象にして実施

*指導＝弘法窯スタッフ

下記の通り、当館第二講堂において陶芸講座を開催した。当日、参加者は形造りから絵付けまでを行って終了(一日教室)。後日、学芸部が岐阜県可児市の弘法窯の陶房まで輸送して、焼成(完成品は集会室にて手渡し)。また、電動ろくろ器を使用して制作する「中級編」も同時開催。

- ・第1回＝平成28年5月28日・29日「織部焼・越前風自然釉焼締陶器」……参加者計47名
 - ・第2回＝平成28年9月24日・25日「志野焼・越前風自然釉焼締陶器」……計43名
 - ・第3回＝平成29年1月28日・29日「織部焼・越前風自然釉焼締陶器」……計51名
- 総計＝141名

3-2-2. 茶の友会(定員制度・毎年度4月1日から3月31日まで有効)

- ・会員数＝1,500名
- ・会費＝5,000円
- ・展覧会(特別展を含む)を何度でも鑑賞可能。
- ・特別展の講演会を無料で聴講可能。
- ・「茶の友会茶会」の開催(年2回・ただし、1回につき実費10,000円程度必要)。
- ・展覧会や催物の案内を発送。

(1) 茶会—茶の友会会員を対象にして実施

- ・第1回秋季茶会＝平成28年11月10日、11日、12日、13日(4日間)……参加者計778名
 - ・第2回春季茶会＝平成29年3月9日、10日、11日、12日(4日間)……参加者計894名
- *上記茶会に使用した美術品について学芸員が解説した。 総計＝1,672名

3-3. 外部との連携事業

(1) 他美術館との連携事業

・「秋の三館 美をめぐる2016」

三井記念美術館・根津美術館・五島美術館 3館合同キャンペーン(平成25年度より継続実施)。
「平安古筆の名品—飯島春敬の観た珠玉の作品から—」(10月22日～12月4日)の会期中、対象展覧会(三井記念美術館特別展「松島 瑞巖寺と伊達政宗」、根津美術館特別展「円山応挙—「写生」を超えて」)の入館済み半券で他2館の入館料100円割引、3館の入館済み半券でいずれか1館の次回展覧会に無料招待する。平成28年度、当館における割引利用入館者は159名、次回展の来館者は29名。

・Bunkamura ザ・ミュージアム 相互割引キャンペーン

「平安古筆の名品—飯島春敬の観た珠玉の作品から—」(10月22日～12月4日)の会期中、Bunkamura

ザ・ミュージアム「ピエール・アレシンスキー展」との相互割引を実施。入館券提示で相互に正規入館料 100 円を割引く。当館における割引利用入館者は 5 名。

・MY Bunkamura タイアップ企画「五島美術館で秋の美を愉しむとっておきの週末」
平成 28 年 10 月 1 日 美の友会会員限定美の友月例美術講座特別ご招待〈10 名〉(別館講堂)
.....応募者 253 名／参加者 6 名

・MY Bunkamura タイアップ企画「五島美術館で平安の美を愛でる爽秋のひとつとき」
平成 28 年 11 月 23 日 特別講演会・「平安古筆の名品展」ご招待〈40 名〉(別館講堂)
.....応募者 300 名／参加者 22 名

・MY Bunkamura タイアップ企画「オリジナルてぬぐいプレゼント」
応募期間 平成 28 年 12 月 20 日～平成 29 年 1 月 16 日
.....応募者 612 名／当選者 10 名

・MY Bunkamura タイアップ企画「時代的美(中国・朝鮮編)プレゼント」
応募期間 平成 29 年 2 月 14 日～3 月 16 日
.....応募者 204 名／当選者 10 名

(2) 近隣館との連携事業

・世田谷美術館 相互割引キャンペーン 第 1 弾
「秋の優品展—心の旅—」(8 月 27 日～10 月 16 日)および「平安古筆の名品—飯島春敬の観た珠玉の作品から—」(10 月 22 日～12 月 4 日)の会期中、世田谷美術館「志村ふくみ—母衣への回帰—」との相互割引を実施。世田谷美術館の観覧有料券の半券提示で入館料を 100 円割引、当館対象展覧会の有料入館券の半券提示で世田谷美術館の正規観覧料から 100 円割引く。当館における割引利用入館者は 61 名。

・世田谷美術館 相互割引キャンペーン 第 2 弾
「中国の陶芸展」(2 月 18 日～3 月 26 日)の会期中、世田谷美術館「花森安治の仕事—デザインする手、編集長の眼—」との相互割引を実施。世田谷美術館の観覧有料券の半券提示で入館料を 100 円割引、当館対象展覧会の有料入館券の半券提示で世田谷美術館の正規観覧料から 100 円割引く。当館における割引利用入館者は 19 名。

・静嘉堂文庫美術館 相互割引キャンペーン 第 1 弾
「夏の優品展—動物襲来—」(6 月 25 日～7 月 31 日)の会期中の 7 月 9 日より 7 月 31 日まで、静嘉堂文庫美術館「江戸の博物学—もっと知りたい！自然の不思議—」(6 月 25 日～8 月 7 日)との相互割引を実施した。有料入館券の半券提示で、相互に入館料を 200 円割引く。当館における割引利用入館者は 50 名。

・静嘉堂文庫美術館 相互割引提携 第 2 弾
平成 28 年 8 月 27 日より、静嘉堂文庫美術館との相互割引を実施。静嘉堂文庫美術館(常時)の有料入館券の半券提示で当館一般入館料から 100 円割引、当館有料入館券の半券提示で

静嘉堂文庫美術館の正規入館料から200円を割引く。平成28年度(8月27日以降)、当館における割引利用入館者は128名。

(3) 東急グループとの連携事業

・東急グループ社長会

平成28年4月11日 特別鑑賞会他

(本館展示室・茶室・庭園) 参加者 135 名

・東京急行電鉄株式会社主催「東急オトナプログラム」

平成28年10月13日 D:ノルディックウォーキング in 二子玉川+五島美術館

展覧会解説(集会室) 参加者 24 名

平成28年10月14日 A:平安時代から続く「香り」を学ぶ和の体験

(別館講堂・茶室・第二講堂) 参加者 37 名

・第一生命保険株式会社インド法人関係者対象「書道体験」(集会室)

(企画:東京急行電鉄株式会社観光事業開発部)

平成28年6月8日 参加者 14 名

・株式会社キッズベースキャンプこども対象「茶道体験」(集会室・茶室・第二講堂)

平成29年3月25日 参加者 38 名

(4) 大学との連携事業

・共立女子大学との連携事業

文化財保護・保存を推進し、学術研究機能の向上と人材の育成に寄与することを目的として、共立女子大学との連携事業を実施。平成28年度は、基幹事業として「金屏風収納袋の修理検討・制作」を行った。

3-4. 博物館実習生の受け入れ

下記の通り、博物館法施行規則第1条で定める学芸員資格取得のための学生の博物館実習を当館の基準の下に受け入れ、その指導を行った(団体研修3大学のべ249名、実習生3大学4名)。

・期日＝平成28年4月23日・10月8日

実習生＝立教大学博物館実習生(団体研修) 計 54 名

・期日＝平成28年6月11日、25日・12月24日・平成29年1月14日

実習生＝東京学芸大学博物館実習生(団体研修) 計 144 名

・期日＝平成28年9月1日・9月2日

実習生＝慶應義塾大学博物館実習生(団体研修) 計 51 名

・期間＝平成28年11月2日(水)～15日(火) 計 12 日間

実習生＝日本女子大学 文学部 史学科 1 名

日本大学 文理学部 国文学科 1 名

学習院大学 文学部 日本語日本文学科 1 名

学習院大学 文学部 哲学科 1 名

3-5. 講堂・茶室などの施設利用

(1) 本館集会室

ギャラリートーク(平成 28 年 9 月 8 日)、当館主催「こども美術講座」(平成 28 年 4 月 17 日他)、当館主催「陶芸講座」参加者作品展観(平成 28 年 5 月 28 日・29 日、9 月 24 日・25 日、平成 29 年 1 月 28 日・29 日)、各種団体などへの解説、美術品写真撮影、博物館学講習会、館内諸会議などに使用。

(2) 別館講堂

当館主催「講演会」(平成 28 年 10 月 23 日他)、ギャラリートーク(平成 28 年 4 月 7 日他)、当館主催「美の友会月例美術講座」(毎月 1～3 回)、当館主催「茶の友会茶会」の道具説明会(平成 28 年 11 月 10 日～13 日、平成 29 年 3 月 9 日～12 日)、当館主催ミュージアム・コンサート(平成 28 年 6 月 29 日、9 月 15 日)、東京急行電鉄株式会社主催「キッズプログラム」(平成 28 年 12 月 18 日)、茶の湯文化学会例会(平成 28 年 9 月 24 日)、書芸文化院「平安書道研究会」(平成 28 年 7 月 10 日他)などに使用。

(3) 第二講堂

当館主催「陶芸講座」(平成 28 年 5 月 28 日・29 日、9 月 24 日・25 日、平成 29 年 1 月 28 日・29 日)、当館主催「茶の友会茶会」の点心席(平成 28 年 11 月 10 日～13 日、平成 29 年 3 月 9 日～12 日)、「キッズベースキャンプ」(平成 29 年 3 月 25 日)、その他一般の茶会の点心席などに使用。

(4) 茶室

当館主催「茶の友会茶会」(平成 28 年 11 月 10 日～13 日、平成 29 年 3 月 9 日～12 日)、東京急行電鉄株式会社主催「キッズプログラム」(平成 28 年 12 月 18 日)、「キッズベースキャンプ」(平成 29 年 3 月 25 日)、その他一般の茶会などに使用。

4. その他

4-1. その他の協力事業および会議等への派遣

- (1) 全国博物館大会への参加(館長他 1 名、平成 28 年 11 月 16 日、17 日)。
- (2) 全国美術館会議への参加(館長、平成 28 年 5 月 26 日、27 日)。
- (3) 全国博物館長会議への参加(館長他 1 名、平成 28 年 6 月 8 日)。
- (4) 私立美術館会議への参加(館長他 1 名、平成 28 年 10 月 7 日、8 日)。
- (5) 美術資料収集評価委員会へ学芸員を派遣(東京国立博物館 1 回、九州国立博物館 2 回)。
- (6) 美術資料買取協議会へ学芸員を派遣(九州国立博物館 3 回)。
- (7) 国立文化財機構の依頼により、外部評価委員会委員に学芸員を登録、会議に参加(平成 28 年 5 月 24 日)。

- (8) 文化庁の依頼により、芸術選奨選考審査員に学芸員を登録、会議に参加(平成 29 年 1 月 27 日)。
- (9) 円覚寺の依頼により「宝物風入れ」の展示・撤去に学芸員を派遣(平成 28 年 11 月 2 日、5 日)。
- (10) 東京学芸大学の依頼により、副館長を博物館学および同実習の非常勤講師として派遣。
- (11) 東京藝術大学の依頼により、副館長を博物館実習および集中講義の講師として派遣。
- (12) 清泉女子大学の依頼により、学芸員を工芸史の非常勤講師として派遣。
- (13) 京都造形芸術大学の依頼により、学芸員を芸術学部通信教育部の非常勤講師として派遣。
- (14) 武蔵野美術大学の依頼により、学芸員を工芸史の非常勤講師として派遣。
- (15) 第 29 回東京都高等学校文化連盟書道部門書道展審査に副館長を派遣(平成 28 年 11 月 22 日)。
- (16) Bunkamura ザ・ミュージアムの依頼により、学芸員を展示立会いのため派遣(平成 28 年 6 月 10 日)。
- (17) 大阪歴史博物館の依頼により、学芸員を資料研究会のため派遣(平成 28 年 9 月 27～29 日)。
- (18) 文部科学省の依頼により、中央教育審議会専門委員(初等中等教育分科会)として会議に副館長を派遣(平成 28 年 4 月 26 日、5 月 26 日)。
- (19) 九州国立博物館の依頼により、学芸員を科学研究費助成事業(課題番号 15H05150)における調査・会議へ派遣・協力(平成 28 年 10 月 29、30 日)。
- (20) 大谷大学真宗総合研究所の依頼により、学芸員を調査に派遣(平成 28 年 12 月 15 日、16 日)。
- (21) 一般財団法人筆の里振興事業団の依頼により、副館長および学芸員を作品調査に派遣(平成 28 年 12 月 1 日)。
- (22) 一般財団法人筆の里振興事業団の理事会に出席(平成 28 年 5 月 31 日、平成 29 年 3 月 22 日)。
- (23) 公益財団法人高梨学術奨励基金の評議員会に出席(平成 28 年 6 月 14 日)。
- (24) 公益財団法人大師会の報告会(平成 29 年 3 月 27 日)および評議員会に出席。
- (25) 一般社団法人書芸文化院の理事会(平成 28 年 5 月 22 日、12 月 18 日、平成 29 年 3 月 19 日)、および総会(平成 28 年 5 月 22 日、平成 29 年 3 月 19 日)に出席。

- (26) 公益財団法人徳川ミュージアムの依頼により、文化財修復助成事業選定委員会の委員に派遣。また「開校・彰考館」プロジェクト調査活用事業の資料調査発表会(平成 28 年 9 月 17 日)に出席。
- (27) 一般財団法人イセ文化財団の理事会に出席。
- (28) 一般財団法人イセ文化財団他主催「第 18 回ハッピーイースター卵あそびコンテスト」審査委員として学芸員を派遣。
- (29) 全日本書道連盟の依頼により平成 28 年度書写書道教育講演会に副館長を派遣(平成 28 年 11 月 24 日)。
- (30) 日本博物館協会の依頼により、「美術品取梱包輸送技能取得士認定制度に関する委員会」会議(平成 28 年 4 月 22 日、11 月 2 日)および同試験(平成 28 年 8 月 6 日、平成 29 年 2 月 18 日、19 日)、「博物館登録制度の在り方に関する調査研究委員会」(平成 28 年 10 月 4 日)、『博物館研究』編集委員会(平成 29 年 1 月 30 日)に参加。
- (31) 文部科学省主催「平成 28 年度博物館館長研修」に館長が出席(平成 28 年 7 月 13～15 日)。
- (32) 公益財団法人せたがや文化財団理事会への参加(平成 29 年 1 月 12 日、2 月 14 日)。
- (33) 第 63 回日本伝統工芸展(全国 12 都市にて開催:会期 平成 28 年 9 月～平成 29 年 3 月)奨励賞に協賛。
- (34) 世田谷区のセント・メリーズ・インターナショナル・スクール学園祭に協賛。
- (35) 日本大学文理学部 第 24 回桜麗祭に協賛。

4-2. 学会・研究会

- (1) 韓国全羅南道郡主催 民族文化遺産研究院主管 第 3 回 高興雲垓里粉青沙器国際学術大会にて研究成果を発表(平成 29 年 2 月 3 日)
- (2) 書学書道史学会大会にて、シンポジウムのパネリストとして登壇(平成 28 年 10 月 1～2 日)。
- (3) 帝京大学総合博物館にて、シンポジウムのパネリストとして登壇(平成 28 年 11 月 26 日)。
- (4) 東洋陶磁学会、書学書道史学会、全国博物館学会、漆工史学会、茶の湯文化学会、中国文化学会、全国美術館会議、全国博物館長会議、私立美術館会議(以上大会出席)
- (5) 日本貿易陶磁研究会研究集会、茶書研究会、日本書道史研究会に参加。

[2] 大東急記念文庫事業

1. 図書保存

- (1) 収蔵庫内の参考書誌、図書資料等と和古書との分離収納作業を行なった。
- (2) 所蔵資料の保存状態を調査し、修理・補修リストに記載した。
- (3) 庫内に適度の防虫剤を施した。また防塵、除湿、防災には万全を期した。

2. 図書収集

- (1) 閲覧参考資料
「人物叢書」等を継続購入中である。
- (2) 出版文化史参考資料
本年度は購入しなかった。
- (3) 古典籍参考資料
本年度は購入しなかった。

3. 図書調査

- ・国文学研究資料館の依頼により、京都瑞光寺の資料調査を行なった。
- ・共同研究「日本古典籍の書誌概念と書誌用語の国際化」のメンバーとして舟津神社(福井県)・一乗谷朝倉氏遺跡資料館の資料調査を行なった。

4. 図書閲覧

(1) 個人閲覧

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開館日数		25	22	22	27	4	26	22	26	18	23	20	23	258 日
閲覧者数		9	0	8	7	1	5	7	6	9	11	3	15	81 人
閲覧図書	国書	8	0	12	38	4	14	19	18	10	6	3	10	142 点
	漢籍	2	0	7	0	0	3	0	0	1	22	10	40	85 点
	仏書	1	0	26	0	0	0	4	0	2	0	3	3	39 点
	その他	0	0	5	9	0	0	12	0	1	2	0	7	36 点
計		11	0	50	47	4	17	35	18	14	30	16	60	302 点

(2) 団体閲覧

- ・4 月 延慶本平家物語研究会(1 点／於閲覧室)7 名
- ・10 月 近世漢詩文研究会(21 点／於集会室)7 名
- ・11 月 慶應義塾大学学部生ほか(47 点／於集会室)8 名
- ・12 月 書誌用語研究会(8 点／於閲覧室)6 名

5. 出版物の編集・刊行・頒布・委託出版(主なもの)

- (1) 頒布
・機関誌「かがみ」第 47 号

- ・『典籍逍遙—大東急記念文庫の名品』
- ・公開講座講演録

(2) 委託販売

- ・大東急記念文庫善本叢刊中古・中世篇(汲古書院)継続刊行中。
平成 28 年度は、第 14 巻『伝記・願文・語学等』(第 27 回配本)を刊行。
- ・大東急記念文庫善本叢刊近世篇(全 18 巻別巻 1 巻)(汲古書院)
- ・大東急記念文庫所蔵『芥子園画伝』初集・二集・三集(勉誠出版)
- ・マイクロフィルム版「江戸文学総瞰」「物語文学総瞰」(丸善雄松堂)

6. 普及

(1) 出版物受贈(主なもの)

- ・『東京市史稿 産業篇 第五十七』 1 冊(東京都公文書館)
- ・柳川文化資料集成 第 1 集—2『井上文雄判 柳河藩歌合集』 1 冊(柳川市)
- ・『磧砂版大蔵経目録 第一冊』 1 冊(杏雨書屋)
- ・『杏雨書屋所蔵 病草子 模本集成』 1 冊(杏雨書屋)

(2) 図書資料撮影、掲載、出版、翻印等許可

- ・各種団体
江戸東京博物館、国立歴史民俗博物館、東京藝術大学美術館、日本漢字能力検定協会、立正大学地球環境科学部等
- ・出版社等
NHKエンタープライズ、古典ライブラリー、小学館、上海古籍出版社、新典社、勉誠出版、便利堂、武蔵野書院、臨川書店等
- ・個人
研究者等 7 名

7. 展示

(1) 他所への貸出

- ・神奈川近代文学館……………「門」夏目漱石原稿／計 1 点
特別展「100 年目に会おう夏目漱石」(期間＝平成 28 年 3 月 26 日～5 月 22 日)
- ・大和文華館……………重要文化財「応現観音図」／計 1 点
特別展「吳越國—西湖に育まれた文化の精粹—」(期間＝平成 28 年 10 月 8 日～11 月 13 日)
- ・大和文華館……………重要文化財「高僧像」・「伊勢物語下絵梵字経」／計 2 点
特別展「白描の美—図像・歌仙・物語—」(期間＝平成 29 年 1 月 6 日～2 月 19 日)
- ・東京国立博物館……………重要文化財「騎獅文殊像内納入品」／計 3 点
特別展「春日大社—千年の至宝—」(期間＝平成 29 年 1 月 17 日～3 月 12 日)

(2) 五島美術館への出陳

- ・[館蔵]春の優品展—恋歌の筆のあと—

……………「小倉山莊色紙和歌帖」・「新古今集抄月詠和歌巻」・「源氏物語奥入」ほか／計 17 点

- ・[館蔵]夏の優品展—動物襲来—

……………「四季花鳥図屏風 尾形乾山筆」・「蟹譜七十五品図」・「兎大手柄」ほか／計 13 点

- ・[館蔵]秋の優品展—心の旅—

……………重要文化財「唐大和上東征伝」・「旅絵日記 狩野探幽筆」・「江戸雀」ほか／計 12 点

- ・[館蔵]茶道具取合せ展

……………「布袋之図自画賛 笑嶺宗訢筆」・「茶室起絵図」／計 2 点

8. 国等各種公共機関・団体への協力と職員の派遣

- ・大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国文学研究資料館の調査員として会議に出席、国文学関係資料の調査に協力した。

- ・国文学研究資料館における「歴史的典籍に関する大型プロジェクト」の共同研究「日本古典籍の書誌概念と書誌用語の国際化」の研究分担者として研究会や調査に参加した。

貸借対照表

2017年 3月31日現在

H28年度_公益財団法人五島美術館

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	90,255,854	107,582,510	△ 17,326,656
未収金	2,578,973	3,229,184	△ 650,211
前払金	3,922,931	1,865,444	2,057,487
棚卸資産	29,527,765	27,468,361	2,059,404
有価証券	7,764,596	7,764,596	0
立替金	0	62,464	△ 62,464
仮払金	6,934	110,952	△ 104,018
流動資産合計	134,057,053	148,083,511	△ 14,026,458
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
土地	1,139,685,568	1,139,685,568	0
建物	1,419,489,556	1,462,700,481	△ 43,210,925
立木	1,000,000	1,000,000	0
美術品	1,134,631,000	1,134,631,000	0
古典籍	133,255,570	133,245,570	10,000
什器備品	3,332,002	3,920,002	△ 588,000
投資有価証券	728,359,057	728,359,057	0
基本財産合計	4,559,752,753	4,603,541,678	△ 43,788,925
(2) 特定資産			
積立預金	96,000,000	57,000,000	39,000,000
特定資産合計	96,000,000	57,000,000	39,000,000
(3) その他固定資産			
美術品	194,929,325	194,549,325	380,000
什器備品	8,435,840	7,729,818	706,022
その他固定資産合計	203,365,165	202,279,143	1,086,022
固定資産合計	4,859,117,918	4,862,820,821	△ 3,702,903
資産合計	4,993,174,971	5,010,904,332	△ 17,729,361
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	9,889,431	7,101,036	2,788,395
前受金	6,922,850	6,855,000	67,850
預り金	2,006,104	1,965,572	40,532
流動負債合計	18,818,385	15,921,608	2,896,777
2. 固定負債			
退職給付引当金	15,929,950	14,686,163	1,243,787
役員退職慰労引当金	6,500,000	0	6,500,000
固定負債合計	22,429,950	14,686,163	7,743,787
負債合計	41,248,335	30,607,771	10,640,564
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	3,924,061,694	3,928,262,619	△ 4,200,925
(うち基本財産への充当額)	(3,828,061,694)	(3,871,262,619)	(△ 43,200,925)
(うち特定資産への充当額)	(96,000,000)	(57,000,000)	(39,000,000)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(1,027,864,942)	(1,052,033,942)	(△ 24,169,000)
(うち特定資産への充当額)	(731,691,059)	(732,279,059)	(△ 588,000)
正味財産合計	4,951,926,636	4,980,296,561	△ 28,369,925
負債及び正味財産合計	4,993,174,971	5,010,904,332	△ 17,729,361

財産目録

平成29年 3月31日現在

公益財団法人五島美術館

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	現金 預金	手元保管 普通預金 みずほ上野毛① みずほ上野毛② みずほ上野毛③ 三菱東京UFJ玉川① 定期預金 三菱東京UFJ②定期	運転資金として	2,622,985 25,774,450 17,054,984 732,759 6,259,700 1,727,007 61,858,419
	未収金 前払金 棚卸資産 有価証券 立替金 仮払金		以上、運転資金として 売掛金 次年度展覧会準備費用 図録・ショップ商品	61,858,419 2,578,973 3,922,931 29,527,765 7,764,596 6,934,000
	流動資産合計			134,057,053
(固定資産) 基本財産	土地	世田谷区上野毛3-9-25		4,559,752,753
	土地(指定)	19903.86平米	公益目的保有財産であり、公的 事業及び管理運営の用に供してい る。	1,139,685,568
	建物			1,419,489,556
	建物(指定)	本館・別館・茶室2棟・陶芸 教室	公益目的保有財産であり、公的 事業及び管理運営の用に供してい る。	1,419,489,556
	立木			1,000,000
	立木(指定)		公益目的保有財産であり、公的 事業の用に供している。	1,000,000
	美術品			1,134,631,000
	美術品(指定)	美術工芸品 2,617件	公益目的保有財産であり、公的 事業の用に供している。	1,134,631,000
	古典籍			133,255,570
	古典籍(指定)	古典籍 21,839冊	公益目的保有財産であり、公的 事業の用に供している。	133,255,570
	什器備品			3,332,002
	什器備品(一般)	展示用備品・収蔵棚	公益目的保有財産であり、公的 事業及び管理運営の用に供してい る。	3,332,002
	投資有価証券			728,359,057
	投資有価証券(一 般)	国債・地方債・社債・株式	公益目的保有財産であり運用益を公 益目的事業の財源としている。	728,359,057
	積立預金			0
	積立預金(指定)	三菱東京UFJ・みずほ銀行	公的的事业及び管理運営のための 資産である。	96,000,000 96,000,000
	特定資産			203,365,165
その他固定資産	美術品		公益目的保有財産であり、公的 事業の用に供している。	194,929,325
	什器備品		公益目的保有財産であり、公的 事業及び管理運営の用に供してい る。	8,435,840
固定資産合計				4,859,117,918
資産合計				4,993,174,971
(流動負債)	未払金 前受金 預り金		業者への支払 次年度茶の友会会費 社会保険料	0 9,889,431 6,922,850 2,006,104
	流動負債合計			18,818,385
(固定負債)	退職給付引当金		公的的事业及び管理運営に従事す る職員の退職給付引当金	0
	役員退職慰労引当金		公的的事业及び管理運営に従事す る役員の退職給付引当金	15,929,950
	固定負債合計			6,500,000
負債合計				22,429,950
正味財産				41,248,335
				4,951,926,636

予算対比正味財産増減計算書

2016年 4月 1日から2017年 3月31日まで

H28年度_公益財団法人五島美術館

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[11,363,000]	[11,488,269]	[△ 125,269]
特定資産運用益	[10,000]	[0]	[10,000]
公益事業収益	[135,093,000]	[136,098,289]	[△ 1,005,289]
受取寄付金	[193,708,000]	[193,977,325]	[△ 269,325]
雑収	[70,000]	[123,343]	[△ 53,343]
経常収益計	340,244,000	341,687,226	△ 1,443,226
(2) 経常費用			
事業費	[316,218,000]	[306,845,769]	[9,372,231]
管理費	[26,311,000]	[34,624,057]	[△ 8,313,057]
経常費用計	342,529,000	341,469,826	1,059,174
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,285,000	217,400	△ 2,502,400
損益評価等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 2,285,000	217,400	△ 2,502,400
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
指定正味財産へ振替	[0]	[24,386,400]	[△ 24,386,400]
経常外費用計	0	24,386,400	△ 24,386,400
当期経常外増減額	0	△ 24,386,400	24,386,400
当期一般正味財産増減額	△ 2,285,000	△ 24,169,000	21,884,000
一般正味財産期首残高	1,052,033,942	1,052,033,942	0
一般正味財産期末残高	1,049,748,942	1,027,864,942	21,884,000
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	[39,000,000]	[39,010,000]	[△ 10,000]
一般正味財産からの振替額	[0]	[24,386,400]	[△ 24,386,400]
一般正味財産への振替額	[△ 67,708,000]	[△ 67,597,325]	[△ 110,675]
当期指定正味財産増減額	△ 28,708,000	△ 4,200,925	△ 24,507,075
指定正味財産期首残高	3,928,262,619	3,928,262,619	0
指定正味財産期末残高	3,899,554,619	3,924,061,694	△ 24,507,075
III 正味財産期末残高	4,949,303,561	4,951,926,636	△ 2,623,075

予算対比正味財産増減計算書

2016年 4月 1日から2017年 3月31日まで

H28年度_公益財団法人五島美術館

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[11,363,000]	[11,488,269]	[△ 125,269]
基本財産受取利息	9,426,000	9,314,867	111,133
基本財産受取配当	1,937,000	2,173,402	△ 236,402
特定資産運用益	[10,000]	[0]	[10,000]
特定資産受取利息	10,000	0	10,000
公益事業収益	[135,093,000]	[136,098,289]	[△ 1,005,289]
展示事業収益	52,772,000	52,622,908	149,092
調査研究事業収益	9,150,000	11,827,180	△ 2,677,180
普及事業収益	22,000,000	20,159,900	1,840,100
文庫事業収益	1,700,000	1,138,972	561,028
力レンドンダ一収	39,371,000	40,124,172	△ 753,172
売店収	10,100,000	10,225,157	△ 125,157
受取寄付金	[193,708,000]	[193,977,325]	[△ 269,325]
受取寄付金金額	126,000,000	126,380,000	△ 380,000
受取寄付金振替額	67,708,000	67,597,325	110,675
雑収	[70,000]	[123,343]	[△ 53,343]
受取利息	50,000	30,413	19,587
有価証券運用益	10,000	0	10,000
雑収	10,000	92,930	△ 82,930
経常収益計	340,244,000	341,687,226	△ 1,443,226
(2) 経常費用			
事業費	[316,218,000]	[306,845,769]	[9,372,231]
役員報酬	25,685,000	24,463,171	1,221,829
給料	73,226,000	78,634,194	△ 5,408,194
臨時雇賃金	12,200,000	10,758,769	1,441,231
退職給付費用	1,907,000	1,181,598	725,402
福利厚生費	15,064,000	13,743,106	1,320,894
会議費	361,000	8,000	353,000
旅費	206,000	285,567	△ 79,567
交通費	103,000	135,758	△ 32,758
通信費	4,739,000	3,772,591	966,409
減価償却費	66,386,000	67,507,246	△ 1,121,246
消耗什器備品費	1,100,000	421,977	678,023
消耗品費	924,000	922,117	1,883
修繕費	7,000,000	5,287,828	1,712,172
印刷製本費	2,200,000	231,129	1,968,871
宣伝広告料	8,715,000	8,547,577	167,423
光熱水料	2,478,000	5,270,239	△ 2,792,239
保険料	7,225,000	6,194,863	1,030,137
諸謝金	864,000	861,286	2,714
租税公課	206,000	0	206,000
租税公課	5,520,000	5,585,770	△ 65,770
庭園管理費	6,028,000	5,174,632	853,368
委託費	12,737,000	13,223,441	△ 486,441
展覧会費	12,008,000	5,435,165	6,572,835
催物費	15,850,000	15,519,574	330,426
調査研究費	7,000,000	7,959,829	△ 959,829
雑力レンドンダ一制作費	1,160,000	1,380,501	△ 220,501
	18,500,000	18,743,283	△ 243,283

科 目	予算額	決算額	差 異
シ ョ ッ プ 原 価	6,826,000	5,596,558	1,229,442
管 理 費	[26,311,000]	[34,624,057]	[△ 8,313,057]
役 員 報 酬	13,235,000	12,213,248	1,021,752
給 料 手 当	5,527,000	8,008,159	△ 2,481,159
退 職 給 付 費 用	41,000	62,189	△ 21,189
役 員 退 職 給 付 費	0	6,500,000	△ 6,500,000
福 利 厚 生 費	964,000	1,629,496	△ 665,496
会 議 費	309,000	271,201	37,799
旅 費 交 通 費	104,000	0	104,000
交 際 費	207,000	225,122	△ 18,122
通 信 運 搬 費	535,000	240,145	294,855
減 価 償 却 費	3,499,000	3,553,013	△ 54,013
消 耗 什 器 備 品 費	50,000	0	50,000
消 耗 品 費	106,000	6,026	99,974
印 刷 製 本 料 費	74,000	0	74,000
光 熱 水 料 費	375,000	321,618	53,382
諸 謝 金	1,245,000	1,592,040	△ 347,040
租 税 公 課	0	1,800	△ 1,800
雑 費	40,000	0	40,000
経常費用計	342,529,000	341,469,826	1,059,174
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,285,000	217,400	△ 2,502,400
損益評価等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 2,285,000	217,400	△ 2,502,400
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
指 定 正 味 財 産 へ 振 替	[0]	[24,386,400]	[△ 24,386,400]
受 取 寄 付 金 振 替 額	0	24,386,400	△ 24,386,400
経常外費用計	0	24,386,400	△ 24,386,400
当期経常外増減額	0	△ 24,386,400	24,386,400
当期一般正味財産増減額	△ 2,285,000	△ 24,169,000	21,884,000
一般正味財産期首残高	1,052,033,942	1,052,033,942	0
一般正味財産期末残高	1,049,748,942	1,027,864,942	21,884,000
II 指定正味財産増減の部			
受 取 寄 付 金	[39,000,000]	[39,010,000]	[△ 10,000]
一 般 正 味 財 産 か ら の 振 替 額	[0]	[24,386,400]	[△ 24,386,400]
受 取 寄 付 金 振 替 額	0	24,386,400	△ 24,386,400
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	[△ 67,708,000]	[△ 67,597,325]	[△ 110,675]
受 取 寄 付 金	△ 67,708,000	△ 67,597,325	△ 110,675
当期指定正味財産増減額	△ 28,708,000	△ 4,200,925	△ 24,507,075
指定正味財産期首残高	3,928,262,619	3,928,262,619	0
指定正味財産期末残高	3,899,554,619	3,924,061,694	△ 24,507,075
III 正味財産期末残高	4,949,303,561	4,951,926,636	△ 2,623,075

正味財産増減計算書内訳表
2016年 4月 1日から2017年 3月31日まで

公益財団法人五島美術館

(単位: 円)

科 目	公益				法人	合 計
	公 1	公 2	公益共通	小 計		
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
基本財産の受取利息	[89,720]	[0]	[11,398,549]	[11,488,269]	[0]	[11,488,269]
基本財産の受取配当	0	0	9,314,867	9,314,867	0	9,314,867
公益事業の収益	89,720	0	2,083,682	2,173,402	0	2,173,402
展示事業の収益	[134,959,317]	[1,138,972]	[0]	[136,098,289]	[0]	[136,098,289]
調査研究事業の収益	52,622,908	0	0	52,622,908	0	52,622,908
普及事業の収益	11,827,180	0	0	11,827,180	0	11,827,180
文庫事業の収益	20,159,900	0	0	20,159,900	0	20,159,900
力レンダ一収	0	1,138,972	0	1,138,972	0	1,138,972
売店収	40,124,172	0	0	40,124,172	0	40,124,172
受取店寄付金	10,225,157	0	0	10,225,157	0	10,225,157
受取寄付金	[380,000]	[0]	[158,717,459]	[159,097,459]	[34,879,866]	[193,977,325]
受取寄付金振替額	380,000	0	94,500,000	94,880,000	31,500,000	126,380,000
受取寄付金振替額	0	0	64,217,459	64,217,459	3,379,866	67,597,325
繰受取利息	[92,930]	[0]	[30,413]	[123,343]	[0]	[123,343]
繰受取利息	0	0	30,413	30,413	0	30,413
繰収	92,930	0	0	92,930	0	92,930
経常収益計	135,521,967	1,138,972	170,146,421	306,807,360	34,879,866	341,687,226
(2) 経常費用						
事務費	[285,169,008]	[21,676,761]	[0]	[306,845,769]	[0]	[306,845,769]
役員報酬	20,795,529	3,667,642	0	24,463,171	0	24,463,171
給料	67,263,852	11,370,342	0	78,634,194	0	78,634,194
退職給付	10,758,769	0	0	10,758,769	0	10,758,769
福利厚生費	995,030	186,568	0	1,181,598	0	1,181,598
旅費	12,113,610	1,629,496	0	13,743,106	0	13,743,106
交通費	8,000	0	0	8,000	0	8,000
通信費	285,567	0	0	285,567	0	285,567
消耗什器備品費	105,758	30,000	0	135,758	0	135,758
修繕費	3,696,855	76,736	0	3,772,591	0	3,772,591
印刷製本費	63,954,233	3,563,013	0	67,507,246	0	67,507,246
広報費	421,977	0	0	421,977	0	421,977
光熱水料	874,118	47,999	0	922,117	0	922,117
租税公課	5,287,828	0	0	5,287,828	0	5,287,828
管理費	231,129	0	0	231,129	0	231,129
宣伝費	8,547,577	0	0	8,547,577	0	8,547,577
光熱水料	5,239,595	31,644	0	5,270,239	0	5,270,239
租税公課	5,873,245	321,618	0	6,194,863	0	6,194,863
旅費	861,286	0	0	861,286	0	861,286
通信費	5,682,649	22,921	0	5,705,570	0	5,705,570
交通費	5,174,632	0	0	5,174,632	0	5,174,632
旅費	13,223,441	0	0	13,223,441	0	13,223,441
旅費	5,435,165	0	0	5,435,165	0	5,435,165
旅費	15,519,574	0	0	15,519,574	0	15,519,574
旅費	7,225,785	734,044	0	7,959,829	0	7,959,829
旅費	1,376,763	4,738	0	1,381,501	0	1,381,501
旅費	18,743,283	0	0	18,743,283	0	18,743,283
旅費	5,596,568	0	0	5,596,568	0	5,596,568
役員報酬	[0]	[0]	[0]	[0]	[34,624,057]	[34,624,057]
給料	0	0	0	0	12,213,248	12,213,248
退職給付	0	0	0	0	8,008,159	8,008,159
福利厚生費	0	0	0	0	62,189	62,189
旅費	0	0	0	0	6,500,000	6,500,000
交通費	0	0	0	0	1,629,496	1,629,496
通信費	0	0	0	0	271,201	271,201
消耗什器備品費	0	0	0	0	225,122	225,122
光熱水料	0	0	0	0	240,145	240,145
租税公課	0	0	0	0	3,553,013	3,553,013
旅費	0	0	0	0	6,026	6,026
旅費	0	0	0	0	321,618	321,618
旅費	0	0	0	0	1,592,040	1,592,040
旅費	0	0	0	0	1,800	1,800
経常費用計	285,169,008	21,676,761	0	306,845,769	34,624,057	341,469,826
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 149,647,041	△ 20,537,789	170,146,421	△ 38,409	255,809	217,400
損益評価等計	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 149,647,041	△ 20,537,789	170,146,421	△ 38,409	255,809	217,400
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
指定正味財産への振替	[24,386,400]	[0]	[0]	[24,386,400]	[0]	[24,386,400]
受取寄付金振替額	24,386,400	0	0	24,386,400	0	24,386,400
経常外費用計	24,386,400	0	0	24,386,400	0	24,386,400
当期経常外増減額	△ 24,386,400	0	0	△ 24,386,400	0	△ 24,386,400
当期一般正味財産増減額	△ 174,033,441	△ 20,537,789	170,146,421	△ 24,424,809	255,809	△ 24,169,000
一般正味財産期首残高	△ 667,765,440	45,327,453	1,690,029,051	1,067,691,064	△ 15,557,122	1,052,033,942
一般正味財産期末残高	△ 841,798,881	24,789,664	1,860,175,472	1,043,166,255	△ 15,301,313	1,027,864,942
II 指定正味財産増減の部						
受取寄付金	[39,000,000]	[10,000]	[0]	[39,010,000]	[0]	[39,010,000]
一般正味財産からの振替額	[24,386,400]	[0]	[0]	[24,386,400]	[0]	[24,386,400]
受取寄付金振替額	24,386,400	0	0	24,386,400	0	24,386,400
当期指定正味財産増減額	△ 63,386,400	10,000	△ 64,217,459	△ 821,059	△ 3,379,866	△ 4,200,925
指定正味財産期首残高	1,185,631,000	133,245,570	2,671,261,290	3,940,137,860	△ 11,875,241	3,928,262,619
指定正味財産期末残高	1,199,017,400	133,255,570	2,607,043,831	3,939,316,801	△ 15,255,107	3,924,061,694
III 正味財産期末残高	357,218,519	158,046,234	4,467,219,303	4,982,483,056	△ 30,556,420	4,951,926,636

正味財産増減計算書

2016年 4月 1日から2017年 3月31日まで

H28年度_公益財団法人五島美術館

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基 本 財 産 運 用 益	[11,488,269]	[11,530,735]	[△ 42,466]
公 益 事 業 収 益	[136,098,289]	[145,343,218]	[△ 9,244,929]
受 取 補 助 金 等	[0]	[1,000,000]	[△ 1,000,000]
受 取 寄 付 金	[193,977,325]	[146,740,410]	[47,236,915]
雑 収 益	[123,343]	[166,831]	[△ 43,488]
経常収益計	341,687,226	304,781,194	36,906,032
(2) 経常費用			
事 業 費	[306,845,769]	[310,003,300]	[△ 3,157,531]
管 理 費	[34,624,057]	[26,200,031]	[8,424,026]
経常費用計	341,469,826	336,203,331	5,266,495
評価損益等調整前当期経常増減額	217,400	△ 31,422,137	31,639,537
損益評価等計	0	0	0
当期経常増減額	217,400	△ 31,422,137	31,639,537
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
指 定 正 味 財 産 へ 振 替	[24,386,400]	[2,268,000]	[22,118,400]
経常外費用計	24,386,400	2,268,000	22,118,400
当期経常外増減額	△ 24,386,400	△ 2,268,000	△ 22,118,400
当期一般正味財産増減額	△ 24,169,000	△ 33,690,137	9,521,137
一般正味財産期首残高	1,052,033,942	1,085,724,079	△ 33,690,137
一般正味財産期末残高	1,027,864,942	1,052,033,942	△ 24,169,000
II 指定正味財産増減の部			
受 取 寄 付 金	[39,010,000]	[0]	[39,010,000]
一 般 正 味 財 産 か ら の 振 替 額	[24,386,400]	[2,268,000]	[22,118,400]
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	[△ 67,597,325]	[△ 66,740,410]	[△ 856,915]
当期指定正味財産増減額	△ 4,200,925	△ 64,472,410	60,271,485
指定正味財産期首残高	3,928,262,619	3,992,735,029	△ 64,472,410
指定正味財産期末残高	3,924,061,694	3,928,262,619	△ 4,200,925
III 正味財産期末残高	4,951,926,636	4,980,296,561	△ 28,369,925

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券等の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券…償却原価法(定額法)によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価は、移動平均法に基づく原価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

建物、什器備品は定額法により減価償却を行っている。

(4) 引当金の計上基準

従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等は、税込方式により会計処理を行っている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
(基本財産)				
土地	1,139,685,568			1,139,685,568
建物	1,462,700,481	24,386,400	67,597,325	1,419,489,556
立木	1,000,000			1,000,000
美術品	1,134,631,000			1,134,631,000
古典籍	133,245,570	10,000		133,255,570
什器備品	3,920,002		588,000	3,332,002
投資有価証券	728,359,057			728,359,057
小計	4,603,541,678	24,396,400	68,185,325	4,559,752,753
(特定資産)				
積立預金	57,000,000	80,000,000	41,000,000	96,000,000
小計	57,000,000	80,000,000	41,000,000	96,000,000
合計	4,660,541,678	104,396,400	109,185,325	4,655,752,753

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
(基本財産)				
土地	1,139,685,568	1,139,685,568		
建物	1,419,489,556	1,419,489,556		
立木	1,000,000	1,000,000		
美術品	1,134,631,000	1,134,631,000		
古典籍	133,255,570	133,255,570		
什器備品	3,332,002		3,332,002	
投資有価証券	728,359,057		728,359,057	
小計	4,559,752,753	3,828,061,694	731,691,059	0
(特定資産)				
積立預金	96,000,000	96,000,000		
小計	96,000,000	96,000,000	0	0
合計	4,655,752,753	3,924,061,694	731,691,059	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	2,428,987,078	1,009,497,522	1,419,489,556
什器備品(基本財産)	42,126,653	38,794,651	3,332,002
什器備品(その他固定資産)	76,190,150	67,754,310	8,435,840
合計	2,547,303,881	1,116,046,483	1,431,257,398

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	帳簿価額	時価	評価損益
有価証券	7,764,596	8,127,777	363,181
投資有価証券	728,359,057	984,800,322	256,441,265
合計	736,123,653	992,928,099	256,804,446

6. 引当金の増減額及びその残高

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	14,686,163	1,243,787	0	0	15,929,950
役員退職慰労引当金	0	6,500,000	0	0	6,500,000
	14,686,163	7,743,787	0	0	22,429,950

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内容	金額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	67,597,325
合計	67,597,325

8. その他

(1) 金融商品に対する取組方針

当法人は、公益目的事業の財源の一部分を運用益によって賄うため、債券、株式により資産運用する。なお、テリパディブ取引は行わない方針である。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は、債券、株式であり、発行体の信用リスク、市場価格の変動リスクにさらされている。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

① 資産運用規程に基づく取引

金融商品の取引は、当法人の資産運用規程に基づき行う。

② 信用リスクの管理

債券については、発行体の状況を定期的に把握し、理事会に報告する。

③ 市場リスクの管理

株式については、時価を定期的に把握し、理事会に報告する。

附属明細書

基本財産の明細、特定資産の明細及び引当金の明細については財務諸表の注記に記載しているため、附属明細書への記載を省略する。

附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項はない。

平成29年 5 月 23 日

監 査 報 告 書

会計報告書類を監査いたしました結果、法令に準拠し適正であると認めます。

公益財団法人五島美術館

監事

三本繁光 

監事

長田忠千代 